

出生時無償応援券（試行）について

1. 目的

平成 22 年 10 月からの有償制への転換に伴い、
杉並区で子どもが生まれたことを地域全体で祝福し、子育てを地域
全体で応援するメッセージとなること、
サービスの利用経験がない新生児の家庭のサービス利用のきっか
けづくりとして、また、購入制の定着を図るため、
出生時の 1 万円の無償交付を、1 年間の試行として実施している。

2. 出生時の応援券の交付を受けた方へのアンケート

- ・ 回答者の 85%が応援券サービスを知るきっかけになったと回答している。

3. 前回（6 月 7 日）の推進懇談会でのご意見

- ・ 出産後に購入手続きをするのは、体もつらく、大変。手続きなしに、自動的に渡してもらえるのが、大きなきっかけになる。
- ・ 4 ヶ月健診で相談したりできるが、それまでにも母乳相談など、ニーズはある。購入制では半年くらいかかる場合もあるが、直ぐに欲しい。
- ・ 出産後すぐこそ子育て支援が必要なところで、積極的に手続きをする人だけでなく、アクションを起こせない人ほど支援が必要な人。

4. 今後の対応の方向（案）

- ・ 出生時の子育てニーズの高さなどを踏まえ、無償交付を継続することとしたうえで、交付額についても拡充することが適当ではないか。
- ・ ただし、事業全体の抜本的な見直しまでの間は、当面、現行の出生時の無償交付を継続することが望ましい。